

# 放射光を用いたナノスピン材料科学の新展開

日時：平成30年10月5日(金) 13:00 ~ 17:45

場所：東北大学AIMR本館 2F会議室

- 13:00-13:05 「はじめに」 組頭 広志 (東北大多元研)
- 13:05-13:45 「軟X線ビームラインにおける磁性研究の現状と  
高輝度光源への展望」 雨宮 健太 (KEK)
- 13:45-14:25 「強磁性およびフェリ磁性物質における熱磁気効果の可視化」  
関 剛斎 (東北大金研)
- 14:25-15:05 「世界の3-GeV放射光におけるスピン/ナノARPESの現状」  
相馬 清吾 (東北大CSR/N/AIMR)
- 休憩 (15:05 - 15:35) -----
- 15:35-16:15 「磁性の制御—放射光を用いた現象理解に向けた取り組み—」  
千葉 大地 (東大物工)
- 16:15-16:55 「マンガン界面の磁性、ならびに磁性ナノヘテロ構造からの  
テラヘルツ波放射」 水上 成美 (東北大AIMR)
- 16:55-17:35 「反強磁性/強磁性積層構造におけるスピン軌道トルク磁化反転」  
深見 俊輔 (東北大通研)
- 17:35-17:45 「おわりに」 佐藤 宇史 (東北大理学研究科)

主催: ナノスピン放射光科学研究会

共催(予定を含む): 東北大: 大学院理学研究科、多元物質科学研究所、スピントロニクス学術  
連携研究教育センター、材料科学高等研究所、電気通信研究所、金属材料研究所、  
光・量子ビーム科学連携推進室

世話人: 佐藤宇史、組頭広志、高橋隆、相馬清吾

お問い合わせ 相馬清吾 022-217-6169  
s.souma@arpes.phys.tohoku.ac.jp

